

道具いらずで
即効性!

今あるスキルに**プラス**したい

癒しと美顔をつくる

「ヘッドスパ」メソッド

ストレス社会やマスク生活の影響から、
眼精疲労やたるみ、頭痛など、
頭部の悩みを抱える方がますます増えています。
そんな今こそ必要とされるのが、
直接頭部を揉みほぐすヘッドスパの技術です。
筋肉やリンパ、ツボの多く集まる頭部へのアプローチは、
不調や美容面での即効性を実感しやすいというメリットも。
既存の施術にプラスしやすい
「小顔・リフトアップ ヘッドスパ」のメソッドを、
日本ヘッドセラピスト協会代表・
前川珠代さんに伺います。
取材・文◎岡田光津子



Profile

前川珠代さん

まえかわたまよ (有)ウィッシュ 代表取締役。
ヘッドプロデューサー。日本ヘッドセラピスト協
会代表。2005年ヘッドスパ専門店「Make a
Wish」を銀座にオープン。2011年第1回エ
スティックグランプリのモデルサロンプレゼン
テーション部門・関東エリア1位、全国準グラン
プリを獲得。同業者からの信頼も厚い。

**ヘッドケアのクオリティを
着実に高めるために**
元祖ヘッドスパ専門店として15年以
上の実績を持つ「Make a Wish」。
5万人以上のお客さまの声から生まれ
た充実メニューと確かな技術で、同業
者からの信頼も厚いことで知られてい
ます。

また、最近ではスマートフォンやパ
ソコンなどを長時間使うことで起こる
「脳疲労」が問題視されています。す
べての疲れの元とも言われるこの症状
に対し、ヘッドケアの施術で的確かつ
即効性のあるアプローチができること
から、頭部への施術をきちんと学びた
いという人も増えているのだとか。

こちらではヘッドケアのスクールも
開校しており、全国から受講生が集ま
ると言います。どのようなきっかけで
学び始める人が多いのでしょうか。

「ヘッドへの需要が高まっている昨今
ですが、多くの方々がボディやフェイ
シャルケアはプロ級でも、ヘッドの施
術には自信がないとおっしゃいます。

また『これまで自己流でやってきたけ
れど知識や技術をしっかりと学んで自
信を持ちたい』『プラスαのメニュー
としてリピート率を高めたり、新規顧
客を開拓したりしたい』という方が多
いです(ヘッドスパ専門店「Make a
Wish」代表 前川珠代さん)

さらに、この場合は事前にスク



エイジングワーク
(しかも...)

マスク疲れ
(しかも...)